

「大腿骨転子部骨折(FTF)における骨折部転位を増悪させる原因に関する前向き研究」について

1. 研究の対象

当院で大腿骨転子部骨折の手術加療を受けられる方

2. 研究目的・方法

大腿骨転子部骨折の患者さんに牽引手術台に乗っていただく際の骨折部の転位には2つの種類あり、外傷による外からかかる力による咬み込み/短縮する(髄内型)パターンと、周囲の軟部組織が付着した骨片を牽引することで骨片間が開大する(髄外型)パターンがあります。

髄外型パターンに関与する因子として、骨折部の位置により腸骨大腿靭帯が付着する骨片が異なることから剥離(はくり)を要するとの報告が見られていますが、実際の診療では骨折した部分が同様の状態であっても骨片間が開大する症例としない症例が存在します。またこの点についてどのくらいの頻度で存在しているかという報告はありますが、原因について実際に検討した報告は見つかりませんでした。

この研究では、大腿骨転子部骨折で手術を受けられた患者さんの電子カルテの情報をもとに、骨折部転位を増悪させる原因を調査します。

研究期間は、病院長許可日から2027年12月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、血液検査結果(ヘモグロビン、クレアチンキナーゼ)、レントゲン、CTなどの画像検査、麻酔記録、手術記録

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3

電話 0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 整形外科 木下 佑